


環境省・オフセット・クレジット(J-VER)制度認証委員会
(事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成23年5月31日

妥当性確認結果の概要報告書

妥当性確認の審査結果ならびにパブリックコメントの概要について以下の通り報告いたします。

対象プロジェクト名			
愛媛県えひめペレットクラブ木質ペレットストーブ等導入によるエネルギー地産地消事業			
GHG 妥当性確認機関			
当該プロジェクトにおける妥当性確認を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。			
機関名	SGS ジャパン株式会社 		
担当部署名	認証サービス事業部 サステナビリティサービス部		
責任者名	マネジャー 西 利道		
責任者 E-mail	Toshimichi.nishi@sgs.com		
責任者電話番号	045-330-5021		
審査員名 ⁱ	都倉 知宏(チームリーダー) 西 利道(SGS 内部監査員) 茅 博司(レビュー担当者)		
機関要件への合致	暫定的な妥当性確認・検証機関としての要件を満たし、暫定妥当性確認・検証機関としての登録を受けている。また、ISO14065 に関わる認定の申請を日本適合性認定協会へ提出し、受理されている。		
妥当性確認報告書発行日	平成 23 年 5 月 31 日		
審査内容			
適用妥当性確認・検証ガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度 妥当性確認・検証ガイドライン Ver.1.2		
妥当性確認期間	2011 年 3 月 29 日～2011 年 5 月 31 日		
現地審査	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	期間	2011年4月11-12日
	審査内容	① プロジェクト計画書、モニタリング計画書及び各種付属書類の現場審査前のレビュー 現場におけるサイトツアー、関連プロセス及び設備の確認、担当者へのインタビュー、及び各種文書類記載内容との突合、などを通じ、妥当性確認を行った。	

<p>プロジェクト情報 (A・B)</p>	<p>プロジェクト計画書及び付属文書の文書レビュー、担当者へのインタビュー、現地審査を通じ、プロジェクト計画書に記載されたプロジェクト情報について検討を行った結果、重要性の点から適正に表示されており、プロジェクト計画書及び付属文書に示されたプロジェクトは、オフセット・クレジット(J-VER)制度実施規則、モニタリング方法ガイドライン、排出削減ポジティブリスト・方法論(E002・JEAM002、E003・JEAM003)に依拠して作成されていることを確認し、妥当であると判断した。</p>
<p>適格性要件(C)</p>	<p>プロジェクト計画書及び付属文書の文書レビュー、担当者へのインタビュー、現地審査を通じ、プロジェクト計画書に記述された方法論は、ポジティブリストにおいて要求される適格性要件の全てを満たしていることを確認し、妥当であると判断した。</p>
<p>排出量・吸収量算定 (I・II)</p>	<p>モニタリング計画書及び付属文書の文書レビュー、担当者へのインタビュー、現地審査を通じ、モニタリング計画書に記載されている排出量算定式及び結果は、モニタリング方法ガイドライン、排出削減ポジティブリスト・方法論(E002・JEAM002、E003・JEAM003)に準拠しており、重要性の観点から適切に表示されていることを確認し、妥当であると判断した。</p>
<p>モニタリング計画 (III～VI)</p>	<p>モニタリング計画書及び付属文書の文書レビュー、担当者へのインタビュー、現地審査を通じ、モニタリング計画書の内容は、モニタリング方法ガイドライン、排出削減ポジティブリスト・方法論(E002・JEAM002、E003・JEAM003)に準拠しており、重要性の観点から適切に表示されていることを確認し、妥当であると判断した。</p>
<p>その他(D)</p>	<p>プロジェクト計画書及び付属文書の文書レビュー、担当者へのインタビュー、現地審査を通じ、関連許認可及び関連法令等の遵守状況等について、モニタリング方法ガイドライン、排出削減ポジティブリスト・方法論(E002・JEAM002、E003・JEAM003)に準拠しており、重要性の観点から適切に表示されていることを確認し、妥当であると判断した。</p>
<p>機関の見解 (サマリー・結論)</p>	<p>有限会社 内藤鋼業の愛媛県 えひめペレットクラブ木質ペレットストーブ等導入によるエネルギー地産地消事業に対し、提出されたプロジェクト計画書 Ver1.1 及び付属文書に示されたプロジェクトについて、合意された妥当性確認範囲、目的及び基準に基づき、合意的保証を付与する水準にて妥当性確認を実施した。その結果、プロジェクト計画書 Ver1.1 及び付属文書に示されたプロジェクトは、オフセット・クレジット(J-VER)制度実施規則、モニタリング方法ガイドライン、排出削減ポジティブリスト・方法論(E002・JEAM002、E003・JEAM003)に依拠して作成されており、全ての重要な点に関し、適正であると判断した。</p> <p>以上より、本プロジェクトに対しオフセット・クレジット(J-VER)認証運営委員会による登録を行うことを推奨する。</p>
<p>パブリックコメントの概要</p>	
<p>パブリックコメントの募集期間</p> <p>本プロジェクトに関して、2011年3月29日から2011年4月11日までの間、パブリックコメントを募集した。</p> <p>コメント</p> <p>受け付けられたコメントはなかった。</p>	

妥当性確認機関の見解
受け付けられたコメントはなかった。

-
- i 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。